

■ 空港概要

丘珠空港は防衛省が設置管理する飛行場で、昭和17年に陸軍航空隊が飛行場を設置したことに始まり、昭和36年に公共用の指定を受けた、防衛省と民間の共用飛行場である。

当空港は、札幌市の中心部から北東に直線距離で約6Kmと近距離に位置し、道内の政治、経済、文化の中心である札幌と道内各地を結ぶ航空ネットワークの拠点として重要な役割を果たしているほか、航空機使用事業などの小型機が常駐する空港として、防災、測量、報道、写真撮影、遊覧飛行など幅広い業務に利用されている。

■ 主な空港施設

名称	札幌飛行場（丘珠空港）	
種別	公共用飛行場	
面積	総面積：1,025,028㎡ 国土交通省所管：125,520㎡ 防衛省所管：899,508㎡	
滑走路	1,500m×45m	
誘導路	1,530m×18m	
エプロン	中型機用 5、小型機用 22	
空港運用時間	7:30～20:30（国交省） 7:00～20:00（防衛省）	（管制時間）



※白枠：防衛省管理 赤枠：国土交通省管理

■ 就航路線

函館：6往復（12便）
 釧路：4往復（8便）
 利尻：1往復（2便）
 三沢：1往復（2便）
 静岡：1往復（2便）

合計：13往復（26便）

※平成29年4月1日現在

